

肝属川における水質事故について(第2報)

○肝属川5k400左岸（鹿屋市串良町下小原地先）の甫木水門付近で重油の流出が確認されました。

○発生源は近隣農家が所有する農用ボイラー。

○肝属川水質汚濁防止連絡協議会の構成機関（肝付町、東串良町、大隅地域振興局等）には、事務局から連絡済み。

○魚のへい死等の被害情報はありません。

○甫木水門にオイルフェンス及び吸着マット設置し、重油を回収中です。

1. 発見日時：令和4年9月19日(月) 9時50分頃

2. 発見場所：肝属川左岸5k400付近 甫木水門付近より

3. 原因：農用ボイラーが台風14号の強風により転倒。

4. その他：大隅肝属地区消防組合より原因者へ再発防止策を指導済。

<問合せ先> 肝属川水質汚濁防止連絡協議会事務局

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

副所長（河川・砂防）

しもむら しんいちろう

下村 慎一郎（内線204）

河川管理課長

たはら ひでき

田原 秀樹（内線331）

電話0994-65-2541 FAX0994-65-9630

令和4年9月19日 肝属川の油流出対策位置図

別添図



鹿児島県鹿屋市串良町下小原地先